

1 選抜はどのように行われるの？

高校によって「内申」「学力検査」「面接」の重みが違う

選抜方法

- 1次選考→「内申」「学力検査」「面接」「特色検査^{*}」に各比率をかけた合計点の上位から合格
2次選考→「学力検査」「面接」「特色検査^{*}」に各比率をかけた合計点の上位から合格

選 抜 枠

- 1次選考→定員の90%まで
2次選考→定員の残り約10%

^{*}は実施校のみ

比率が2なら2倍に、比率が3なら3倍に…

比 率

- 1次選考→内 申：100点満点に計算し直した数値を2～6倍
学 力 検 査：100点満点に計算し直した数値を2～6倍
面 接：100点満点に計算し直した数値を2～6倍
2次選考→学力検査：100点満点に計算し直した数値を2～8倍
面 接：100点満点に計算し直した数値を2～8倍

各比率の合計は必ず10に

各比率の合計は必ず10に

※特色検査実施校は、特色検査の得点を100点満点に計算し直した数値を1～5倍にして加える（比率の合計は11～15）

詳しくは

p47「特色検査について
知っておこう！」

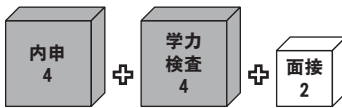
1次選考

「学力検査最重視」パターン ⇒



2014年は、横浜翠嵐・鶴見の2校がこの比率で実施したよ

「学力検査・内申均等」パターン⇒



2014年は、この比率を利用する高校が最も多く、全体の約4割の高校で実施したよ

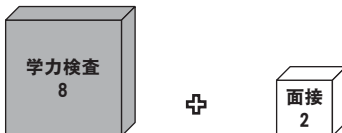
「内申最重視」パターン ⇒



2014年は、厚木北(一般)、磯子、大井、神奈川工業、相模原青陵の5校がこの比率で実施したよ

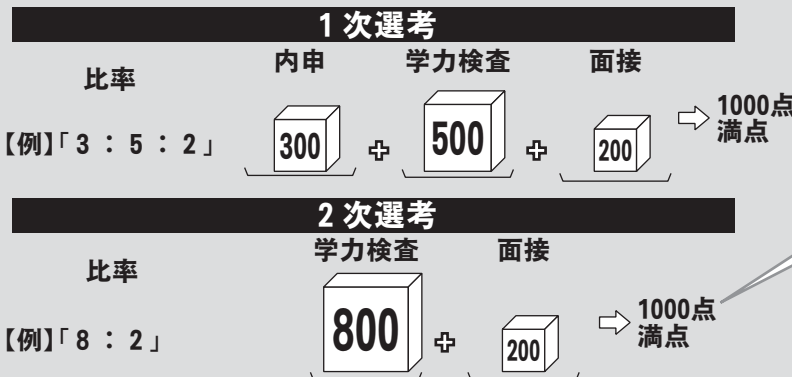
2次選考

「学力検査最重視」パターン ⇒



2014年は、7割近い高校がこの比率を使って合格者を決めたんだ！

実際の満点は…



詳しくは

p50「各高校の比率一覧」

2次選考では内申が使われないけど、どちらも合計点は1000点満点だよ

特色検査を実施する高校は、上の1000点満点に特色検査の100～500点が加わるので、合計点は最大で1500点満点に

2 数値Sの求め方！

1000点満点の得点はこうして計算される

A高校をさくらさんが受験した場合

A高校の比率

	内 申	：	学力検査	：	面 接
1 次	3	：	5	：	2
2 次			8	：	2

さくらさんの 得点

内申	2 年次 9 教科合計 29点 (45点満点)	学力検査 300点 (500点満点)	面接 50点 (A高校では100点満点)
	3 年次 9 教科合計 31点 (45点満点)		

それぞれ
を100点
満点に換
えるため
に計算し
直す

内 申
$29 + (31 \times 2) = 91$ $\frac{91}{135} \times 100 = 67.41$ 3 年次は 2 倍 2 年次 9 科 $\times 5 = 45$ 3 年次 9 科 $\times 5 \times 2 = 90$ 45 + 90 = 135 2 倍

学力検査
$\frac{300}{500} \times 100 = 60$ 満点 (5 教科 $\times 100$ 点)

面 接
$\frac{50}{100} \times 100 = 50$ 満点 100 点

小数第 3 位を四捨五入

$$S1 (1 次) = 67.41 \times 3 \text{ 倍} + 60.00 \times 5 \text{ 倍} + 50.00 \times 2 \text{ 倍} = 602.23$$

$$S2 (2 次) = 60.00 \times 8 \text{ 倍} + 50.00 \times 2 \text{ 倍} = 580.00$$

1 次選考での比率の違いは？

各比率が大きい項目が得意項目だと有利になる

【例】

	内 申	：	学力検査	：	面 接	
A 高校	2	：	6	：	2	学力検査重視
B 高校	6	：	2	：	2	内申重視

▶ 内申 と 学力検査 を 100 点満点に計算し直したとき、

自分の得点が 内申 < 学力検査 なら、

学力検査の比率が大きい A 高校のほうが高得点に！

自分の得点が 内申 > 学力検査 なら、

内申の比率が大きい B 高校のほうが高得点に！

詳しくは

p40 「内申重視校と学力検査重視校ではどんなタイプの受験生が有利？」